

令和4年度 水稻の病害虫発生状況（6月）

1 葉いもち

(1) 6月中下旬の調査では、置苗残存ほ場割合は中通りで平年より低く、会津、浜通りでは平年並でした。補植用置苗での葉いもちの発生は確認されませんでした（図1、表1）。補植用置苗は葉いもちの発生源になるため、速やかに処分してください。

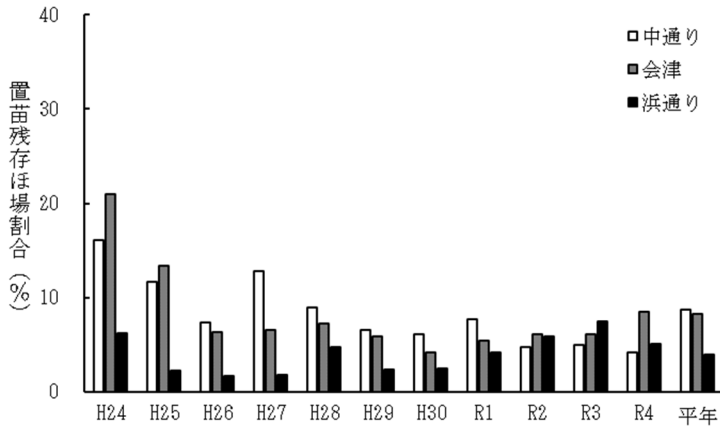


図1 補植用置苗の残存ほ場割合の推移（6月中下旬）

注) 本年度の調査地点・ほ場数 中通り：15地点・287ほ場
 会津：8地点・154ほ場
 浜通り：7地点・137ほ場

表1 補植用置苗での葉いもち初確認日（6月）

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	平年
中通り	6/21	7/2	未確認	6/22	未確認	未確認	未確認	未確認	未確認	未確認	未確認	6/25
会津	6/20	未確認	6/20	6/8	未確認	6/21	6/11	未確認	未確認	6/17	未確認	6/16
浜通り	6/15	未確認	未確認	未確認	未確認	未確認	未確認	未確認	6/12	6/15	未確認	6/14

2 イネミズゾウムシ

発生ほ場割合は、6月上旬、中下旬の調査ともに全域で平年を上回りました（図2、3）。

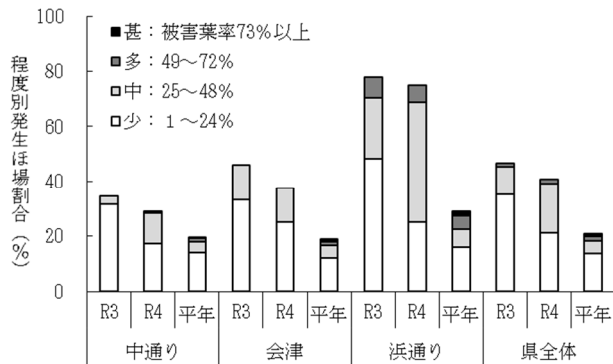


図2 イネミズゾウムシの発生状況
(6月上旬)

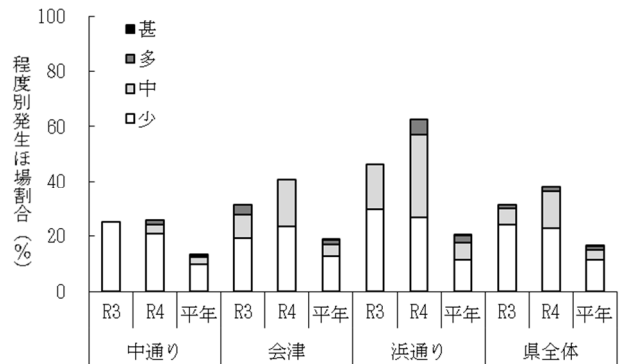


図3 イネミズゾウムシの発生状況
(6月中下旬)

3 イネヒメハモグリバエ

6月上旬の調査では、発生ほ場割合は中通りで平年よりやや低く、浜通りで平年並、会津では発生が確認されませんでした（図4）。発生程度はすべて「微」発生でした。

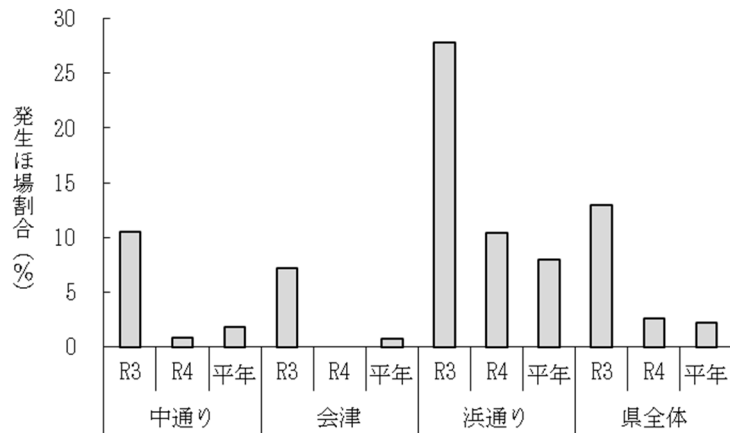


図4 イネヒメハモグリバエの発生状況 (6月上旬)

4 イネドロオイムシ

発生ほ場割合は、6月上旬、中下旬の調査ともに中通りで平年を上回り、6月中下旬には発生程度の高いほ場もみられました。会津、浜通りでは発生が確認されませんでした（図5、6）。

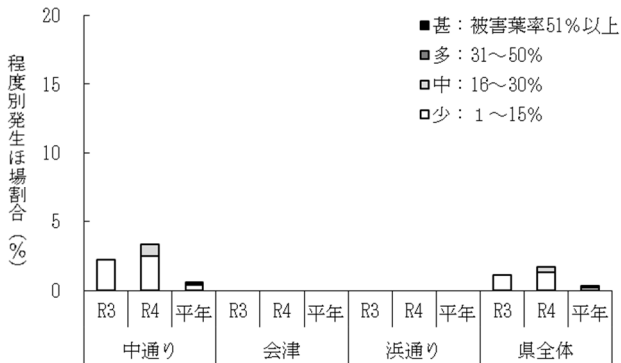


図5 イネドロオイムシの発生状況
(6月上旬)

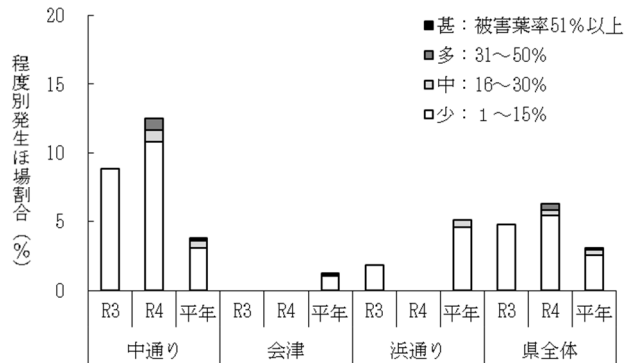


図6 イネドロオイムシの発生状況
(6月中下旬)

5 イナゴ類

幼虫による食害の発生ほ場割合は、6月上旬、中下旬ともに全域で平年を下回りました（図7、8）。

6月中下旬の畦畔すくい取り調査では、発生地点率、1地点当たりすくい取り数ともに平年を下回りました（図9、10）。

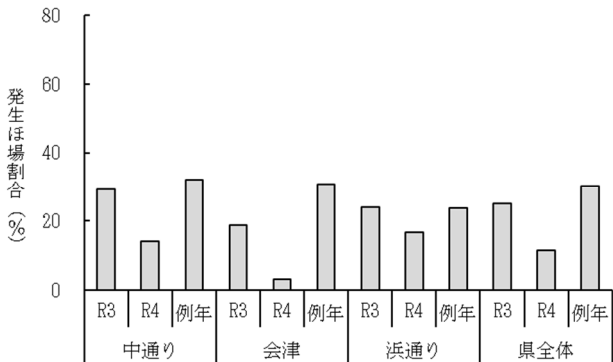


図7 イナゴ類幼虫による食害の発生状況
(6月上旬)

注) 例年はR1~R3の平均

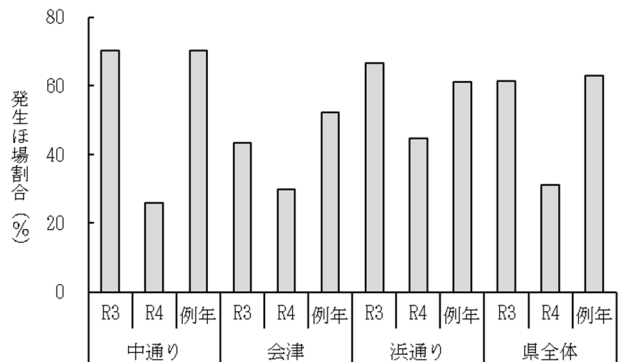


図8 イナゴ類幼虫による食害の発生状況
(6月中下旬)

注) 例年はR1~R3の平均

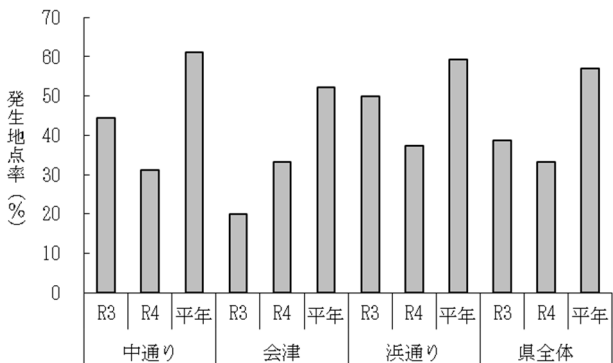


図9 畦畔すくい取りによるイナゴ類幼虫の発生地点率 (6月中下旬)

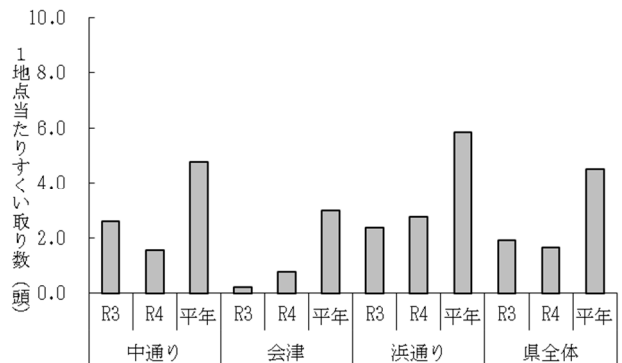


図10 畦畔すくい取りによるイナゴ類幼虫の1地点当たりすくい取り数 (6月中下旬)

6 斑点米カメムシ類

6月中下旬の畦畔すくい取り調査では、発生地点割合は平年よりやや低くなりました（図11）。発生種別では、全域でアカスジカスミカメの発生地点が多かったほか、会津ではアカヒゲホソミドリカスミカメとホソハリカメムシ、浜通りではホソハリカメムシの発生が目立ちました（図12）。

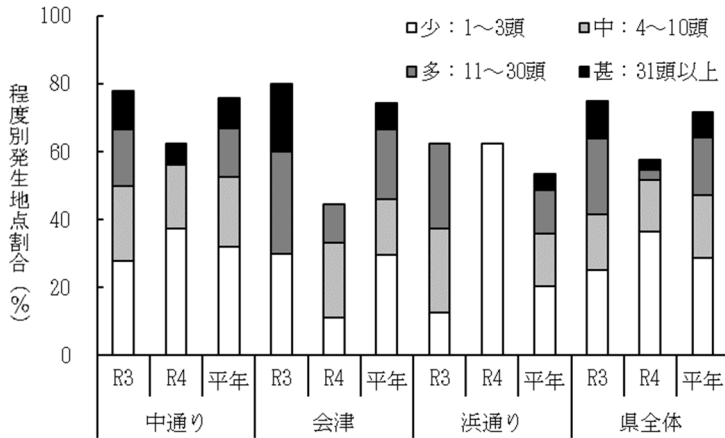


図11 畦畔すくい取りによる斑点米カメムシ類の程度別発生状況（6月中下旬）

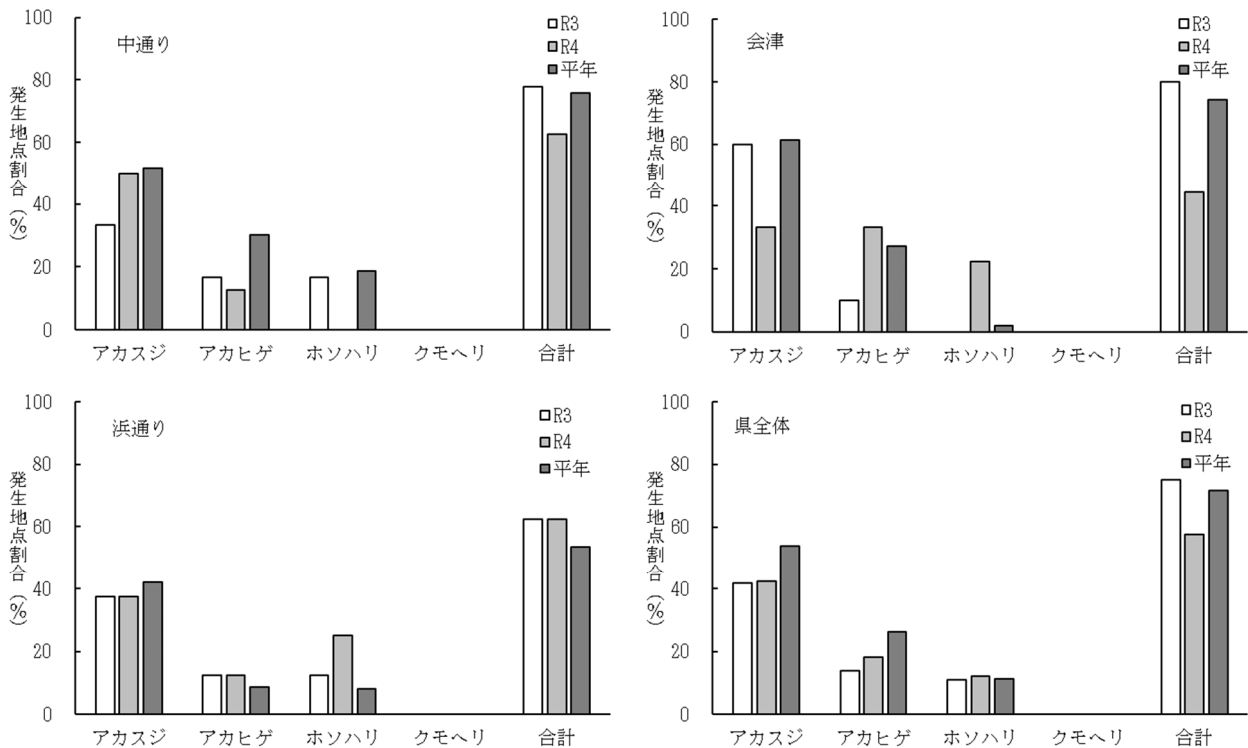


図12 畦畔すくい取りによる斑点米カメムシ類の種別地点割合（6月中下旬）

注) アカスジはアカスジカスミカメ、アカヒゲはアカヒゲホソミドリカスミカメ、

ホソハリはホソハリカメムシ、クモヘリはクモヘリカメムシを表す

注) 合計には、その他の斑点米カメムシ類を含む